

ずっと、このまちで

地域が抱える課題に対応

市立病院は、昨年11月から在宅医療サービスとして新たに訪問リハビリーションのサービスを始めました。本号では、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリの3本柱で提供する在宅医療サービスを紹介します。

我が家で暮らす安心を支援したい

「住み慣れた自宅で過ごしたい」という思いは、多くの人が抱く願いでないでしょうか。しかし、体の状態によっては「自宅で生活しながら、病院へ通うことが難しくなった」「退院しても、自宅で生活できるか不安」と感じることもあるかもしれません。市立病院では、そのような人が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう「在宅医療サービス」の充実に取り組んでいます。

在宅医療とは

訪問診療 医師による診察

主治医が定期的に、通院が困難な患者の自宅に訪問し、診察を行います。

- ▶ 健康管理や薬の処方、血液検査、点滴などの医療処置

移動や待ち時間の負担なく、治療を受けられます。

訪問看護 看護師によるケア

看護師が患者の自宅に訪問し、主治医の指示に基づいた医療処置や療養上のサポートを行います。

- ▶ 体調確認(血圧・体温測定など)、点滴やカテーテルの管理、床ずれの処置、家族への療養上のアドバイスなど

自宅での医療ケアの不安を解消します。

POINT

患者の状態によっては、医師や看護師だけではなく、薬剤師や理学療法士、栄養士など、幅広い職種で情報を共有。連携して治療に当たります。

訪問リハビリ 理学療法士によるリハビリ

理学療法士が患者の自宅に訪問し「家の階段」や「いつもの椅子」を使い、実際の生活環境に合わせたりハビリテーションを行います。

- ▶ 筋力維持の運動、歩行訓練、段差の上り下り、トイレや入浴動作の練習など

生活に直結した身体の使い方を身に付けます。

まずは相談してください

在宅医療サービスの詳しい内容を聞きたい人は、下記のいずれかに問い合わせてください。

- ▶ **市立病院の主治医・外来スタッフに** =受診した際に担当の医師や看護師に相談してください。
- ▶ **担当ケアマネジャーに** =介護保険サービスを利用している人は、担当のケアマネジャーに相談してください。
- ▶ **相談支援専門員に** =障がい福祉サービスを利用している人は、担当の相談支援専門員に相談してください。
- ▶ **地域医療連携室(市立病院内)**に =来院するか、電話で相談してください(☎76-2800)。※相談は平日の8時30分から17時15分まで

利用者の声



母が市立病院の在宅医療サービスを利用しています。去年の夏から体調を崩し、入退院を繰り返していたところ、市立病院からサービスの利用を進められ、平日の訪問看護やリハビリをお願いしています。情報共有がしっかりとしていて、訪問に来たスタッフの1人に伝えたことを、チームの皆さんのがきちんと把握しているので、安心感があります。自宅で、判断に困ることがあっても市立病院に連絡すれば、すぐに対応してもらえるのでとても助かっています。



市立病院が在宅医療サービスを拡充

これまで市立病院では、訪問診療と訪問看護の2種類の在宅医療サービスを提供していましたが、スタッフの人数などの課題もあり、不定期での提供にとどまつていました。こうしたなか、過疎化や高齢化、市内の診療環境の変化により、通院が困難な患者への対応を求められる場面が増えていました。ことも事実です。

このような状況を踏まえ、在宅医療のあり方について検討を進め、昨年11月から新たに訪問リハビリーションを始めました。これにより市立病院は、従来の2種類の在宅医療サービスと合わせた3本柱で、サービスの充実を図ります。

提供する在宅医療サービスの対象者

市立病院は「市立病院に勤務する医師を主治医とし、病気や障がいなどにより通院が困難な患者」を対象に、次のページに記載の、3種類の在宅医療サービスを提供しています。

在宅医療サービスを利用するには抵抗があつたり、家族が「自分が病院に連れて行かなければ」と悩んだりしていませんか。気軽に病院スタッフなどに相談してください。

市立病院が取り組む在宅医療

安心ポイント

01

「いつもの先生」が診察

日ごろの病状を詳しく把握している医師が患者の自宅に訪問し、診察を行います。

02

訪問スタッフと病院が連携

訪問する在宅医療スタッフは、市立病院と情報を共有しており、体調が急変した場合も迅速な対応を行うことができます。

03

切れ目のないケア

入院時から、退院後の生活を見据え、スムーズに在宅生活へ移行できるよう多職種の医療スタッフがサポートします。